

人材育成を主題にセミナー開催 リーダーシップ開発のカギを解説

インヴェニオの現地法人、インヴェニオチャイナ (URL=www.invenio.cn/) が2月29日、「現地主導に向けたリーダーシップ開発と人材育成体系の構築」と題するセミナーを上海市内で開催した。慶応義塾大学大学院特任教授でインヴェニオ顧問の高橋俊介氏が、中国における幹部育成をテーマに講演した。

高橋氏は、人材育成のノウハウは幹部の経験値ではなく、極めて専門的な学習を通じて身につけるものであり、他社への優位性を構築するという事業戦略の根幹を成すカギと指摘。幹部に必要なリーダーシップは、各自の思考や行動特性が関係しているため、講義型研修だけでなく、アクションラーニングによって“気づき”を与えながら習慣化し習得していくべきだと述べた。

また、今の時代に求められるリーダーシップに健全な人間観構築の思考特性を挙げ、例えば「部下は育たないと思っているから育たない」事例を引き合いに、組織と部下は自分の人間観の鏡だと自覚することの重要性を説いた。同時に、支援的コミュニケーションも要点として挙げ、業務上の支援、内省的支援は同僚や先輩が行うのが効果的で、それ以外の例えば部下が失敗した際のフォローといった精神的支援を行うのが、上司の最も重要な役割だと語った。

さらに、仕事上の伝達も「これをやれ」ではなく「こういう考え方でやれ」と目的や戦略を共有することが肝心で、それを暗黙知ではなく形式知によって自分の言葉で伝えることが大切と指摘。また、リーダーは仕事に対して常に仮説

を持って取り組み、その結果を検証することが大事で、限られた具体的経験の基にゆがんだ持論を作るのではなく、より高いレベルの学びを実践する必要性を説いた。

このほか、インヴェニオチャイナ総経理の大城昭仁氏がリーダーシップ開発と人材育成体系の構築における具体的な方法論について解説。また、日系大手企業の人事担当者を交えたパネルディスカッションを行ったほか、セミナー後は参加者による晩餐会も行われた。



慶応義塾大学大学院特任教授の高橋俊介氏



セミナーには約150人が参加した